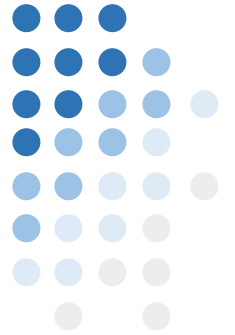


ディスクロージャー誌

2019.8



那須野農業協同組合



組合長あいさつ



JAなすの
代表理事組合長
菊地 秀俊

皆様には、平素より私どもJAなすのをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当JAは令和元年8月末において、貯金残高1,677億円、貸出金残高361億円となり、前年同期比でそれぞれ13億円、8億円増加するなど、業務内容は引き続き順調に推移しております。

収益面においては、経常利益を265百万円計上し、自己資本比率は16.56%程度となり財務の健全化を維持しております。

また、本年は新しく策定された「第8次中期3か年計画 創造的自己改革の実践」の初年度に当たります。本計画では「農業者の所得増大・農業生産の拡大へのさらなる挑戦」「地域の活性化への貢献」「組合員のアクティブメンバーシップの確立」「食・農・協同組合にかかる地域住民の理解の醸成」「自己改革の実践を支える経営・財務基盤の確立」を新たな基本方針に設定し、さらなる自己改革の実践に取り組んで参ります。

今後とも、農家組合員及び地域の皆様とともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性・健全性の向上とサービスの提供に努めて参りますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

(表紙：那須地区の風景と那須の山々)

第 8 次中期 3 年計画 創造的自己改革の実践 基本方針

超高齢化社会、人口減少を迎え、地域の農業や社会は急速に姿を変えつつあります。また、わが国経済は「ゆるやかに回復している」とされているものの、長引く超低金利政策により、金融業界を中心に今後さらなる影響の顕在化が避けられない状況となっています。

農業情勢は、行政による米の生産数量目標の配分が廃止され、需給調整の実効性確保に向けた計画的な生産を推進していく必要があることや、2018年に署名されたTPP11協定や日欧EPAなど、将来的な国際化の進展の中、国内農業への影響が懸念されます。

こうした中JAなすのは、第27回JA全国大会、第30回JA栃木県大会での大会決議である「創造的自己改革への挑戦」に全力で取り組んできました。

第31回JA栃木県大会決議実践期間中(2019年度～2021年度)には、2019年5月と2021年3月の2回にわたって、政府の「農協改革」の議論の節目を迎えることから、これまで自ら取り組んできた自己改革の成果と今後のさらなる取り組みにより、これらに対応していく必要があります。

創造的自己改革の実践では、多様な組合員の声に応え、組合員の願いを実現していくため、組合員とどう向き合うのか原点に立ち返り、「協同組合」としてJAの組合員・役職員がともに力を合わせ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」へさらに挑戦し、組合員とともに農業と地域の未来を拓くため、次の事項を基本方針として取り組みます。

1. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦
2. 「地域の活性化」への貢献
3. 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立
4. 「食」「農」「協同組合」にかかる地域住民理解の醸成
5. 自己改革の実践を支える経営・財務基盤の確立

※アクティブ・メンバーシップとは組合員が積極的にJA事業や活動に参加してもらうことです。JAにおいては、組合員が地域農業や協同組合の理念を理解し、「私たちのJA」意識を持ち、積極的な事業利用と協同組合活動に参加することです。

農業振興活動

●農業関係の持続的な取り組み

(1) 耕種部門では極端な気象変化に対応した米・麦・大豆等の生産を後押しするために、農産物受検組合、麦・大豆部会を中心に栽培講習会、現地検討会、受検対策会議を積極的に開催し、品質及び収量の安定化対策に取り組んでいます。また、安全・安心を担保するための生産履歴活動や、GAPの取組み定着に向けて、各生産組織の協力により円滑な推進を図っています。

(2) 園芸部門では、商標を取得した9品目を「ビューティフルブランド＝BB9」として、那須地域ブランドの中心に捉え、積極的な販売促進活動に取り組んでいます。また、部会組織との連携による市場・量販店における消費宣伝活動・予約相対取引等を進め単価確保に取り組んでいます。

(3) 畜産部門では、全体学習会の開催により、最新の飼養管理技術やゲノミック遺伝子検査についての学習会や、JAなすの独自の和牛能力共進会を開催し、なすの管内の優秀な繁殖牛を一同に集め、管理技術の高位平準化に努めています。JA独自の枝肉研究会・共励会を定期的に開催し、関係機関の協力の下、肉質改善プロジェクト巡回を実施し、優良牛の生産・有利販売に努めています。

また、管内の取扱店と連携して地域ブランドである「那須和牛」の販促活動を実施し、地産地消の拡大に取り組んでいます。

(4) 営農経済渉外（ALK）による営農相談機能の充実と、肥料・農薬等については、見積り合わせによる精力的な価格交渉と仕入れ先の検討を行っており、生産資材の価格引き下げに努めています。

(5) 出資型農業法人（株）JAなすのアグリサポートでは、生産者の高齢化や担い手

不足で耕作放棄地が増加する中、地域の担い手の方々と連携して耕作放棄地を減らすなど、地域農業の振興を図っています。

●地域密着型金融への取り組み（地域の活性化のための取組の状況及び中小企業等の経営の改善を含む）

(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み方針

当JAでは、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を「当JAの最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、当JAの担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適正な業務の遂行に向け、金融円滑化にかかる基本方針等を定め、対応しています。

(2) 農業者の経営支援に関する体制整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申込に対し、円滑に措置をとることができるよう、態勢を整備しています。

(3) 農業者等の経営支援に関する具体的な取り組み

当JAは、農業者等の経営支援に関する具体的な取り組みとして、下記のような具体的な取り組みを実施しています。

- ・農業者をはじめとした地域活性化のための融資などの支援
- ・経営不振農家に対するコンサルティング
- ・弁護士による法律相談の実施
- ・負債整理資金の提供による償還負担の軽減
- ・地場産野菜・果物を用いた料理教室や親子農業体験教室の実施

地域貢献活動

当JAは、大田原市、那須塩原市、那須町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。

- ・共生（利用者と「共生するJA」）
- ・創造（自ら時の流れを創り出します）
- ・挑戦（現状に満足することなく常に「一歩前へ」挑戦し続けます）

を経営理念に、組合員・利用者の夢を実現するための運営・経営にあたっております。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆様方や地方公共団体などにもご利用いただいております。

また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

当JAでは、平成26年に事業継続計画（BCP）における基本方針（大規模災害に対する対応方針）を策定し、災害時においても事業継続を行うことに最大限努めております。

ア. 組合員数	令和元年8月末	平成31年2月末
正組合員	12,958人	12,939人
准組合員	8,517人	8,412人
合計	21,475人	21,351人
イ. 組合員戸数	令和元年8月末	平成31年2月末
正組合員戸数	11,032戸	11,041戸
准組合員戸数	6,477戸	6,384戸
合計	17,509戸	17,425戸
ウ. 出資金	3,858百万円	3,858百万円

●地域からの資金調達の状況(8月末) 貯金・積金平均残高

組合員等	130,865百万円
その他	37,274百万円
合計	168,140百万円

☆上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金3,570百万円が含まれています。

●地域への資金供給の状況(8月末)

(1) 貸出金平均残高

組合員等	29,186百万円
その他	5,820百万円
合計	35,007百万円

☆上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金2,596百万円が含まれています。

(2) 融資取扱状況

融資取扱状況(平均残高)

住宅ローン	19,236百万円
教育ローン	160百万円
自動車ローン	1,211百万円
営農ローン	1,179百万円
農業資金	3,131百万円
日本政策金融公庫資金	60百万円
農業近代化資金	1,506百万円
畜産特別資金	22百万円
就農支援資金	9百万円
災害条例資金	16百万円
その他制度資金	－百万円
その他	8,472百万円
合計	35,007百万円

☆上記のうち、「日本政策金融公庫資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金等」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことをいいます。

制度融資には大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として、融資を行い、国・地方公共団体が利子補給を行う制度があります。

前者の代表的なものは、日本政策金融公庫（農業改良資金、就農支援資金含む）であり、後者の代表的なものは、農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

●文化的・社会的貢献に関する事項(地域との繋がり)

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

J Aは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

また、次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食に地元農畜産物を提供したり、書道コンクールの開催、野菜の種まきや収穫作業といった農作業体験など、農業への関心を高める取組みを行う一方、高齢者福祉事業の充実を図り、各種サービ

スの提供も行っております。

さらには、児童安全確保のため、配送トラックや外務車両にステッカーを貼り、パトロール活動を行い、積極的に地域安全活動に努めております。

あわせて、平成9年には「日光杉並木」のオーナーとなり、世界遺産を後世に残す取組みの一翼を担うことで文化的貢献を果たすよう努めています。

(2) 組合員・利用者との関係性強化

当J Aでは、組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、毎年「J Aまつり」の開催の他、年金友の会によるグランドゴルフ大会やゲートボール大会、輪投げ大会の開催などの取組みをすすめています。



(3) 情報提供活動

組合員の皆さま向けに、毎月「JAだより」を発行して、JAの事業や地域の情報を提供しています。

また、地域住民の皆さまへの情報発信として、コミュニティー誌「ホットライン」を発行するほか、インターネット上にホームページを開設して、身近でタイムリーな情報提供に努めるとともに、皆さまからの情報やご意見等を、eメールでも受け付けています。

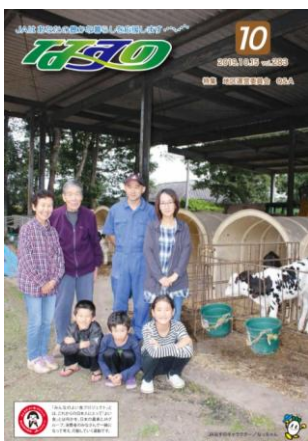
(4) 地方創生に関する事項

平成30年に大田原市、那須塩原市、那須町との「包括連携協定」を締結するなど、地方創生推進により地域の活性化に取り組んでいます。



ホームページ <http://www.janasuno.or.jp/>

eメール soumu@janasuno.or.jp



金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	令和元年8月末	平成31年2月末	増減	(参考) 令和元年8月 購買未収金
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	159	163	△4	9
危険債権	507	373	134	55
要管理債権	—	—	—	—
正常債権	36,020	35,695	325	608
合計	36,687	36,232	455	673

(注) 1. 平成31年2月末から令和元年8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分は、次のとおりです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

〔資産査定における破綻先、実質破綻先〕

②危険債権

・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。

〔資産査定における破綻懸念先〕

③要管理債権

・3か月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権です。

〔資産査定における要管理先債権額のうち3か月以上延滞貸出金及び貸出条件緩和貸出金〕

④正常債権

・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。

地方公共団体等への債権も含まれております。

単体自己資本比率

令和元年8月末	平成31年2月末
16.56%程度	17.91%

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和元年8月末	平成31年2月末	平成30年8月末
貯金	167,756	169,707	166,420
貸出金	36,160	35,360	35,337
預金	114,666	117,696	115,410
有価証券	12,971	13,925	12,779
購買未収金(参考)	673	737	715

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

有価証券の時価情報

[売買目的有価証券]

売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

[満期保有目的の債券]

満期保有目的の債券については、当J Aでは保有しておりません。

有価証券の時価情報

[その他有価証券]

(単位：百万円)

	種 類	令和元年8月末			平成31年2月末		
		取得価額	貸借対照表計上額	差 額	取得価額	貸借対照表計上額	差 額
貸借対照表計上額が取得価額を超えるもの	国 債	8,400	8,471	71	8,576	8,998	422
	地 方 債	—	—	—	3,399	3,726	326
	社 債	1,100	1,100	0	1,100	1,200	100
	小 計	9,500	9,571	71	13,076	13,925	849
貸借対照表計上額が取得価額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	3,400	3,399	△0	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	小 計	3,400	3,399	△0	—	—	—
合 計		12,900	12,971	71	13,076	13,925	849

(注) 取得価額は償却原価法（アモチ・アキュム）適用後、減損処理前のものです。

令和元年度の取り組み①

今年も大好評です！ 「支店感謝デー」

毎年恒例の支店感謝デーを令和元年度も開催しております。
各支店・出張所・営農経済センター・グリーンハウスで、店舗ごとに工夫を凝らしたおもてなしや季節のイベントをご用意しております。
皆様のご来店をお待ちしております。

塩原支店(10月15日開催)



黒羽支店(10月15日開催)



厚崎出張所・黒磯営農経済センター・グリーンハウス黒磯店(10月15日開催)



上記店舗以外にも多くの店舗で感謝デーを開催しました

- ・西那須野支店(8月8日開催)・高林支店(8月26日開催)
- ・大田原支店(9月6日開催)・金田支店、グリーンハウス北店
- ・高久支店(11月14日開催) (10月15日開催)
- ・鍋掛出張所(11月20日開催)・黒磯支店(11月29日開催)
- ・湯津上支店、親園支店、野崎出張所(12月13日開催予定)

令和元年度の取り組み②

・ 移動金融購買店舗 なっちゃん号運行の開始



支店利用や買い物に不便をきたしている組合員・利用者の皆さまにサービスを提供するため、金融店舗と購買店舗の機能を備えた移動店舗車「なっちゃん号」の運行を平成31年3月26日から開始しました。

災害発生時(大規模地震など)には、金融と生活のライフライン確保を担います。

なっちゃん号の運行ルート等、詳細について、JAなすのホームページでご覧になれます。

ホームページ <http://www.janasuno.or.jp/>

・ ねぎ選果施設の稼働



大田原市富池に県内初のねぎ選果施設が完成し、令和元年9月17日に稼働しました。

同施設は一日当たり5.25トン(露地ねぎケース1,050個)を処理することができます。

また、収穫後のねぎを調整、選別、箱詰めできるため、農業者の負担軽減とねぎの生産拡大、ひいては農業所得の増大に期待できます。

実需者の多様なニーズに見合った出荷形態や規格、量を確保し、持続可能なねぎ産地の確立を指していきます。

店舗等のご案内

店舗一覧

店舗名	住 所	電話番号	ATM 設置台数
本 店	325-0017 那須塩原市黒磯6—1	0287-62-5555	
大田原支店	324-0043 大田原市浅香1—2—32	0287-23-3331	1台
野崎出張所	324-0036 大田原市野崎1—7—10	0287-29-0003	1台
親園支店	324-0044 大田原市親園807	0287-28-1131	1台
金田支店	324-0062 大田原市中田原1435—1	0287-23-6641	1台
西那須野支店	329-2735 那須塩原市太夫塚3—221—11	0287-36-0077	1台
塩原支店	329-2801 那須塩原市関谷2050—1	0287-35-2531	1台
黒羽支店	324-0241 大田原市黒羽向町1368—2	0287-54-1167	1台
湯津上支店	324-0405 大田原市湯津上3724—3	0287-98-2315	1台
那須支店	329-3222 那須郡那須町大字寺子丙4—20	0287-72-6111	1台
高久支店	325-0001 那須郡那須町大字高久甲3342—1	0287-64-1122	1台
伊王野出張所	329-3436 那須郡那須町大字伊王野1717	0287-75-0004	1台
黒磯支店	325-0062 那須塩原市住吉町2—12	0287-63-2331	2台
厚崎出張所	325-0026 那須塩原市上厚崎235—1	0287-62-6332	1台
鍋掛出張所	325-0012 那須塩原市越堀387	0287-62-1003	1台
東那須野支店	329-3135 那須塩原市前弥六51	0287-65-3717	1台
高林支店	325-0116 那須塩原市木綿畑635—2	0287-68-0004	1台
大田原営農経済センター	324-0044 大田原市親園807	0287-28-1130	
塩那営農経済センター	329-2735 那須塩原市太夫塚3—221—11	0287-36-3818	
黒羽営農経済センター	324-0241 大田原市黒羽向町1368—2	0287-54-1130	
湯津上営農経済センター	324-0405 大田原市湯津上3724—3	0287-98-2311	
那須営農経済センター	329-3222 那須郡那須町大字寺子丙4—20	0287-72-5890	
黒磯営農経済センター	325-0026 那須塩原市上厚崎235—1	0287-62-6339	

※店舗以外ATM設置台数 14台



栃木県那須塩原市黒磯6番地1
那須野農業協同組合
TEL0287-62-5555 (代)